

岩手県 軽米町議会

議会だより

No. 221

令和2年4月22日発行

かるまい

主な内容

📖 特集 (婚活)

カップル誕生へ町と議会が応援

2

📖 3月定例会 一般質問に8人登壇 13

📖 検証追跡 インフルエンザ予防接種助成 23

📖 インタビュー「かるまい町に住んでみて」 24

今回の表紙は 児童クラブ

新型コロナウイルス感染症対策による臨時休校。子どもたちは友達と仲良く、明るく元気に過ごしていました。

(令和2年4月2日撮影)

特集 結婚活動

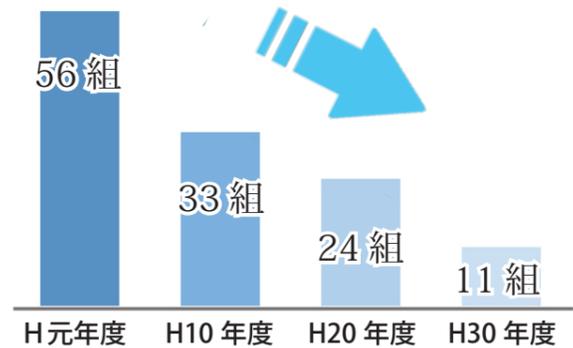
50歳になった時点で一度も結婚をしたことがない人の割合（五十歳時未婚率）は、令和元年に総務省が発表した数値で、男性が23.6%、女性が14.1%となっています。町でも、婚姻数は減少傾向にあります。今回の特集は、結婚とその後に対する町の支援や、議会の取り組みについて取り上げます。

未婚・晩婚化が課題に

結婚について未婚の男女は、「必要性を感じない」、「結婚をしたくない」と思える相手に出会えていない」と思う人や、「自由や気楽さを失いたくない」など、結婚に対して消極的な人が増えています。さらに、「結婚資金が足りない」と、所得に不安を感じている人も少なくありません。（内閣府「少子化社会対策白書平成16年版」から引用）

町の婚姻数も、グラフ1のとおり減少傾向にあります。少子高齢化、それにつながる未婚・晩婚化は町の大きな課題です。

＜グラフ1＞
軽米町の各年度の婚姻数



※ グラフ1は、広報かるまい「おしあわせに」に掲載された4月から3月の間の届け出数です。

カップル誕生へ

町と議会が応援

町の支援

結婚新生活支援 一組30万円補助

町では、結婚新生活支援補助金150万円、さわやかカップル祝い金90万円、すこやかベビー祝い金150万円、新

規の妊産婦健診時交通費助成182万円などを算入しました。結婚活動や安心して子育てをするために、対象となる方はぜひ活用してみてください。

さわやかカップル

町内在住者が婚姻し、婚姻後も軽米町内に1年以上居住する意思がある場合、祝い金として商品券5万円を贈ります。

30万円を補助

新規に婚姻した世帯に、住居や引っ越し費用を30万円を上限に助成します。対象となる要件は町のホームページをご覧ください。

議会では

婚活をテーマに 小委員会を設置

町議会では、婚活についてより深く知り、課題解決に向けた活動を行うために、「婚活」をテーマに小委員会を設置します。婚活を主に取り組んでいる先進地の事例から学び、町の取り組みに活かします。

未婚男女の声



結婚したいが

結婚したい気持ちはありません。誰か、紹介してくれる人がいればいいな！
自分で見つけることは無理です。

結婚したい気持ちはありません。誰か、紹介してくれる人がいればいいな！
自分で見つけることは無理です。

【50代：男性】

積極的になれない

まちなコンに参加したこともありません。iサポ制度も知っていません。家族は、早く結婚してほしいと思っています。なかなか出会いの機会がなく、自分も積極的に相手探しができる存在に至りません。

【30代：女性】

積極的になれない

まちなコンのようなイベントではなく、結婚世帯的な立場の人を置き、独身の人たちの背中を押す。その話から、友人知人の効果が生まれると思います。自分からまちなコンに参加できる人は少ないと思います。

【50代：男性】



世話人の設置を

出産のお祝い！

すこやかベビー

2子出産で3万円、3子で5万円、4子で10万円（現金、商品券を5万円ずつ）の祝い金を贈ります。



これも支援！

iサポで婚活

公益財団法人いきいき岩手支援財団が運営している、いきいき若手結婚サポートセンター「iサポ」。その登録費1万円を町が助成します。



iサポHP▶



今年から新たに！

妊産婦へ交通費

軽米町には産婦人科を備えた医療機関がないため、町外へ妊産婦健康診査へ行った際、町がその交通費を助成します。



ぎかいの視点

結婚のすすめ

グラフ1のとおり、平成元年度は56組、平成30年度は11組と、軽米町の婚姻数は激減しています。「夫婦喧嘩」も人生の大事な一コマ。結婚しないと経験できません。昨年度、町全体の出生数は35人であり、町の人口も9000人を割りました。職場でもお隣さんでも、勇気を出して会ってみませんか。我が子よりさらに孫が「めごと」という話も聞きます。まずは結婚！

町の活性化に向けた 予算編成に

67 億 3500 万円を可決

令和2年
3月
定例会

令和2年度 特別会計と公営企業会計の予算

☆国民健康保険特別会計	11 億 6000 万円
☆下水道事業特別会計	1 億 6100 万円
☆介護保険特別会計	3300 万円
☆後期高齢者医療特別会計	9770 万円
☆水道事業会計	
収益的収入	3 億 5969 万円
支出	3 億 5765 万円
資本的収入	7855 万円
支出	2 億 7056 万円

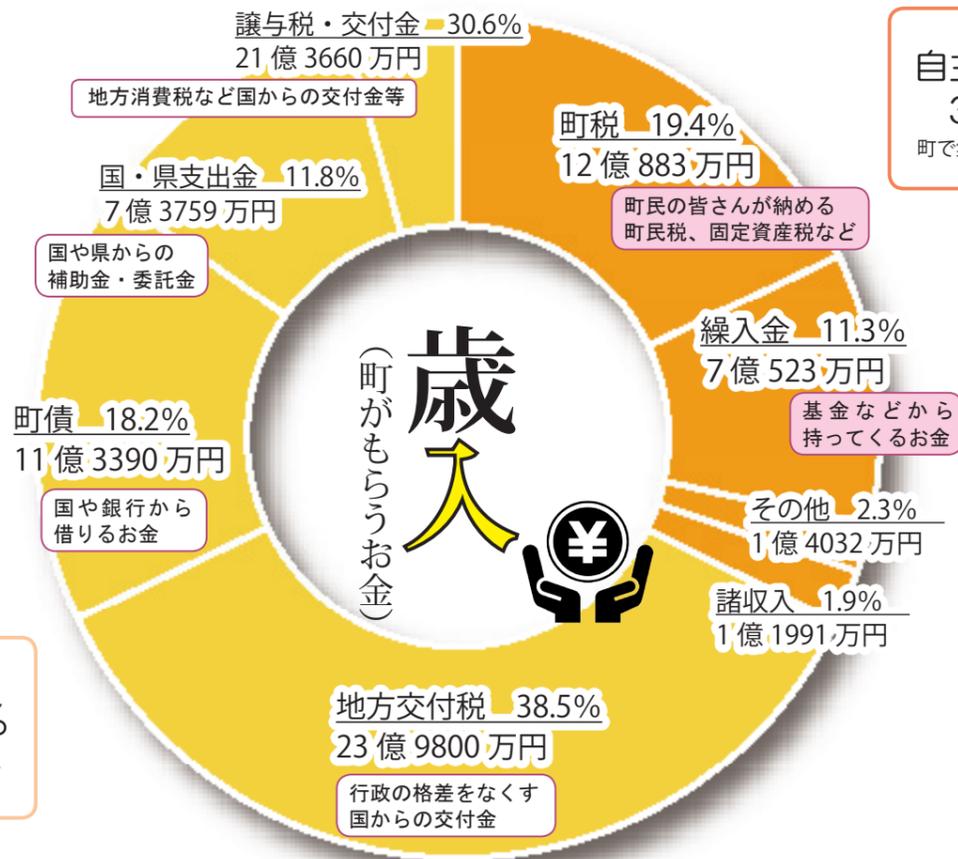
※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てています

税収は大幅な増

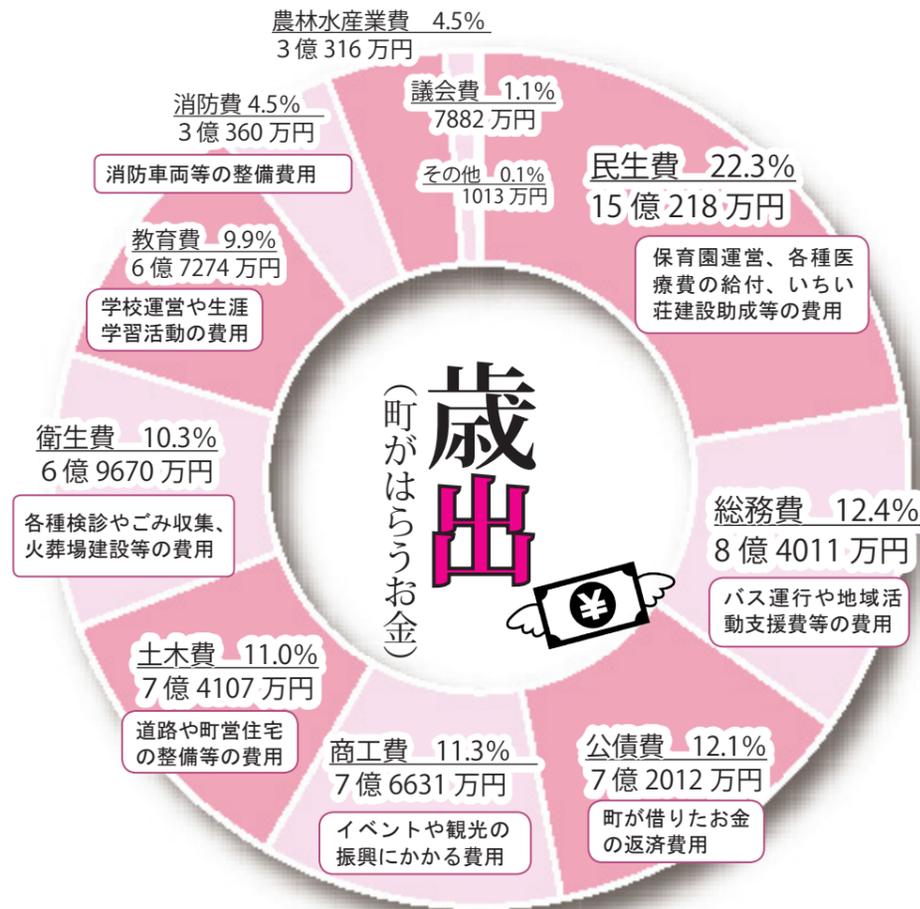


再生可能エネルギー関連により、自主財源がアップ
町税が地方交付税に次ぐ数字に

自主財源
32.2%
町で集める収入



依存財源
67.8%
国や県、借入金で賄う収入



当初予算は昨年より減 今年度はいちい荘が完成



今年度は、平成30年度から始まった特別養護老人ホームいちい荘、火葬場の建築が完了し、昨年度比で2億4800万円の減に
(写真は、建設途中の特別養護老人ホームいちい荘)



新火葬場「かるまい斎苑」の駐車場の舗装等、外構工事に今年も取り組みます

3月定例会（第7回定例会）は、3月3日から13日まで、11日間の会期で開かれました。人権擁護委員の推薦に同意したあと、議案13件の審査を付託した令和2年度一般会計予算等審査特別委員会（本田秀一委員長）で質疑応答を実施。13日の最終本会議で、令和2年度当初予算など、議案13件のすべてを可決。請願1件の採択と意見書提出を決定しました。

令和2年度予算 ここに注目

公営住宅整備 2億 6047万円



今年度は戸建て6棟と長屋1棟を建設予定です。

問 移転したくない人はどうするの。必ずどこかに移らないといけないのか。

答 基本的には移ってもらうことになる。条例では明渡し請求をするということになっており、町で税金をかけて整備しているものもあるので、移っていただきたいと考えている。

地域おこし協力隊推進 1213万円



地域おこし協力隊1人を採用。町の活性化への取り組みが期待されます。

Point **地域おこし協力隊ってなに？**

地域おこし協力隊は、都市部から地方に1〜3年の任期で移住し、特産品開発や農林水産業等に従事する制度です。「よそ者」の視点を生かして地域貢献をし、任期後の定住につながるケースもあります。町では初の受入れです。

経営厳しく (株)軽米町産業開発へ増資 800万円



物産館、ミル・みるハウス等でのさらなる事業の展開のために増資します。

火葬場整備 4911万円



昨年度から新築工事を進めていた新火葬場が完成。今年度は引き続き外構工事と旧火葬場の解体工事を行います。

かるまい交流駅（仮称）整備【1年目】 6億 5702万円



令和5年度の供用開始に向けて、本年度から3か年計画でいよいよ本体工事が始まります。



問 舗装工事は2年後に行うというのだが、それまでの間通行止めになるのか。

答 3月中には町道工事が完了し、既存の町道は通行止めを解除して通行可能になる。新しく整備した2車線の道路は、工事用道路として使用する予定であり、2年後に舗装を完了した後、一般交通の供用を開始したい。

問 ワインを陳列している棚に葛巻のワインは並んでいたが軽米のワインはなかった。原因はなにか。

答 現在、(株)軽米町産業開発ではさるなしワインを製造していない。町内の酒店等が独自に製造している酒類等があるので、陳列についてはこれから話をすることができるだけ町のものを作りたい。

問 火葬の際は町内の方が多く出入りし、他市町村と比較されると思うが、植栽など安らぎの面での程度配慮したか。

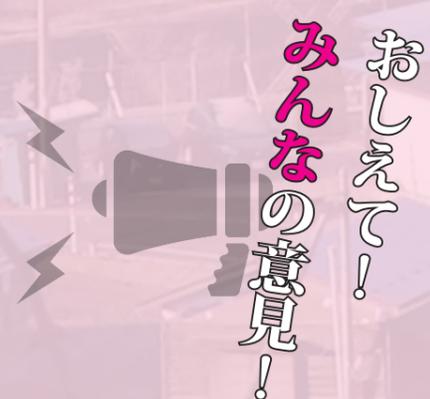
答 12月定例会の特別委員会でも出た意見・要望を設計業者や請負業者と検討し、窓の外適切な位置に植栽を施すことで話を進めている。

誰もが気軽に集う場に

子どもからお年寄りまで、誰もがいつでも気軽に集まれるような交流駅を期待しています。町民待望の文化会館や図書館など、多くの方が利用できればいいと思います。交流駅と物産館を拠点にして、高齢者でも歩いて買い物ができ、商店街通りを人が行き交う、活気のある中心街形成を望みます。



さとう もとはる
佐藤 元治さん
(荒町)



産業振興

- 農業次世代人材投資事業 825万円
- 親元就農給付金事業 360万円
- いわて地域農業マスタープラン実践支援事業 1121万円
- 畜産産地づくり強化対策事業 1214万円
- 中山間地域等直接支払交付金事業 1983万円
- 新規求職者等地域雇用促進奨励金 1700万円



問 所得の上限は設けるか。

答 町独自の親元就農給付金は、兼業であっても交付要件を満たせば対象にしたいと考えている。

問 親元就農給付金の金額は改善されたが、50歳未満というのはきついのでは。

答 当課でも議論し、少しでも若い方から親元を継いでもらうという考え方になった。年齢については今後、制度の要件変更を検討していくことになると考えている。

問 ハザードマップ作成後に対策をしないと、いつ完成し、いつ対策をするのか。

答 令和2年度中に作成して印刷をする。3年度までに、関係する8池について地域の方々にお知らせしたい。

問 関係する8池はどこか。

答 ハザードマップの対象となるのは、観音林ため池、高清水ため池、内城二ため池、内城一ため池、晴山ため池、外川目ため池、勘丁ため池、板橋ため池の8つ。

私たちの暮らし

- 新○ごみ収集車整備事業 1171万円
 - 新○防災重点ため池ハザードマップ作成事業 800万円
 - 新○農道橋りょう点検事業 1267万円
 - 町道整備事業 7750万円
- 〔赤石峠小玉川線、みどころばし竹谷袋線、参勤街道線、蛇口蜂ヶ塚線〕



Point 防災重点ため池ハザードマップとは

局地的な大雨や大規模な地震等の災害発生時に、迅速かつ安全に避難をするための参考資料。災害による被害の低減に有効。

問 ハザードマップ作成後に対策をしないと、いつ完成し、いつ対策をするのか。

答 令和2年度中に作成して印刷をする。3年度までに、関係する8池について地域の方々にお知らせしたい。

問 関係する8池はどこか。

答 ハザードマップの対象となるのは、観音林ため池、高清水ため池、内城二ため池、内城一ため池、晴山ため池、外川目ため池、勘丁ため池、板橋ため池の8つ。



子育て支援

- 新○妊産婦健康診査時交通費助成事業 182万円
- 新○スクールバス購入事業 1085万円
- 子育て世代包括支援事業 440万円
- 小中学校給食費助成 894万円
- 軽米高校教育振興会支援事業 1364万円

Point 軽米高校教育振興会支援



昨年度に引き続き、今年度も軽米高校への支援は増額に。

問 学校給食費助成について、給食費を全額納付した方に助成金を支給しているが、納めやすいように最初から助成金を減額して納入できるようにしてはどうか。

答 子育て支援の一環として給食費助成を行っている。自己負担の原則のため、年度内に全額納付した方に助成するやり方で進めている。

問 山車にかかる費用20万円をもちった場合、これまでの地域活動支援はもちろことができないのか。

答 山車団支援事業で支援するのは山車制作にかかる費用。今後、浴衣の制作等は地域活動支援事業補助金で対応する。山車制作にかかる費用は、山車団支援交付金での対応となる。

交流・観光・文化

- 新○移住定住推進事業 3181万円
 - 新○秋祭り山車団支援事業 120万円
 - 聖地巡礼交流推進事業 134万円
 - 観光推進事業 954万円
- 〔チューリップフェスティバル、フォトロケーション、秋祭り、食フェスタ、冬灯りなどの開催事業費補助〕

Point 秋祭り山車団支援事業とは



山車をさらに盛り上げるため、山車制作にかかる費用を20万円を上限に助成。

問 山車制作にかかる費用20万円をもちった場合、これまでの地域活動支援はもちろことができないのか。

答 山車団支援事業で支援するのは山車制作にかかる費用。今後、浴衣の制作等は地域活動支援事業補助金で対応する。山車制作にかかる費用は、山車団支援交付金での対応となる。

第1子から祝い金を

子育てに関してはある程度充実していると思いますが、第1子出産から祝い金がもらえれば良いと思います。お金のことを考えれば、子育てに不安を感じます。交流駅には子どもが気軽に遊べる公園や遊具等があり、小動物などもいれば子どもが喜ぶのではないのでしょうか。



ささきともあき 佐々木 幹明 さん (下新町)

今後も町単独事業に期待

地域産業の農業振興に期待しています。農業振興に向けたさまざまな補助事業がありますが、町の単独事業である、親元就農給付金のような軽米町独自の農業補助政策をもっと増やして、軽米町の農業をさらに盛り上げてほしいと思います。今後、さらに魅力的な制度の創出に期待します。



たかさわ はじめ 高澤 肇 さん (内城)

町全域の参加支援を

山車制作のための各団への支援は大変ありがたい。どの団でも、予算確保に頭を痛めているのが現状です。少子化で子どもたちの参加が少なく、寂しいばかりではなく山車運行も大変です。町全域で参加できる支援体制をお願いするとともに、前夜祭を開催して秋祭りを盛り上げたいです。



しもむかい よしまつ 下向 由松 さん (下新町)

交流駅建設の状況説明を

人口減少や高齢化、商店の閉店が続いている中、交流駅の建設は見直す部分も必要ではないかと思っています。総工費や維持費などの状況説明がほしいです。また、すたれつつある郷土芸能を掘り起こし、学校教育に生かしてほしいと思います。町民の声を聞く、町政座談会の復活も望んでいます。



たけさわ はげむ 竹澤 勳 さん (仲町)

《3月定例会》

採決結果と討論を紹介



番号等	案件内容	本会議の採決結果	審査の付託先	採決日
諮問①	人権擁護委員の推薦（村上重雄氏＝向川原、再任）	適任 (全員賛成)		3月3日 (招集日)
議案①	軽米町過疎地域自立促進計画の変更〔ミル・みるハウスの施設一部を改修。販売スペースを拡充し、町の交流拠点として整備する〕	可決 (全員賛成)	令和2年度軽米町一般会計予算等審査特別委員会	3月13日 (最終本会議)
議案②	軽米町火葬場設置条例の一部改正〔火葬場の改築に伴い、名称「かるまい斎苑」、使用料（町内の大人1万円など）を定める〕			
議案③	軽米町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正〔子ども・子育て支援法の一部改正に伴う改正〕			
議案④	軽米町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例改正〔子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、所要の改正をしようとするもの〕			
議案⑤	町営住宅管理条例の一部改正〔町営住宅の新築に伴い、「町営秋田2号住宅」を追加する〕			
議案⑥	令和元年度一般会計補正予算（第7号）〔1,922万1千円増額し、総額73億3,552万円に（除雪委託料600万円ほか）〕			
議案⑦	令和元年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）〔92万5千円を減額し、総額1億6,177万円に〕			
議案⑧	令和2年度一般会計予算〔p4、p5を参照〕			
議案⑨	令和2年度国民健康保険特別会計〔p5を参照〕			
議案⑩	令和2年度下水道事業特別会計〔p5を参照〕			
議案⑪	令和2年度介護保険特別会計〔p5を参照〕			
議案⑫	令和2年度後期高齢者医療特別会計〔p5を参照〕			
議案⑬	令和2年度水道事業会計予算〔p5を参照〕			

反対	江刺家 静子	対象議案	中村 正志	賛成
<p>対等な立場で取り組みを</p> <p>令和2年度から始まる会計年度任用職員の制度ですが、フルタイム職員の採用は1人もなかった。メガソーラーについては、説明の時に会社の名前に「様」や「さん」をつけていた。固定資産税をいただいている、寄付金をいただいているという目で見ているのではないかと。対等な立場で今後も災害防止等に取り組んでもらいたい。</p>		<p>【議案第8号】</p> <p>令和2年度一般会計予算</p>	<p>町税伸び独自予算に期待</p> <p>今回の予算で目立つのは、自主財源である町税が大きく、12億円あまりで約4億3000万円の伸び。これまで国からの地方交付税や国・県支出金等に頼る予算から、自力での予算確保とともに、軽米町の独自性を活かした特徴ある予算編成が可能となるもの。他に誇れるまちづくりを進めることができると大きな期待を抱く。</p>	

《3月定例会》

請願陳情・補正予算

皆さんからの請願・陳情の審査結果

【請願陳情】

- * 件名：「地方の実体に合った公立・公的病院のあり方を求める請願書」
- * 要旨：今回の公表は、地域の取り組みや成果が評価されておらず、地方自治体の医療政策が混乱することが懸念される。
- * 請願者：新日本婦人の会軽米支部
支部長 泉山 淳子
- * 紹介議員：江刺家静子



採択 → **意見書提出**

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣

全会一致

議案 第6,7号

令和元年度一般会計予算の補正

総額 73 億 3552 万円に

会計別歳入歳出予算（3月12日現在）

会計別	予算額	
	今回補正額	予算総額
一般会計⑦	1922 万円	73 億 3552 万円
特別会計		
国民健康保険①	—	12 億 982 万円
後期高齢者	—	9110 万円
介護保険④	—	6131 万円
下水道事業①	△ 92 万円	1 億 6177 万円

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てています
※表中の○数字は補正措置の回数を表しています

議会の傍聴にお越しく下さい



氏名と住所をご記入するだけで
誰でも傍聴することができます。

次回の町議会定例会は
6月上旬開会予定です

3/26 第8回臨時会

【同意案①】 固定資産評価審査委員を選任〔固定資産評価審査委員に、関向喜代志氏（＝本町、新任）に同意〕

【議案①～⑤】 令和元年度の一般会計ほか、4つの特別会計の補正予算について原案のとおり全員賛成で可決しました。
〔下表を参照〕

会計別歳入歳出予算（3月26日現在）

会計別	予算額	
	今回補正額	予算総額
一般会計⑧	△ 1 億 5013 万円	71 億 8538 万円
特別会計		
国民健康保険②	△ 351 万円	12 億 631 万円
後期高齢者①	419 万円	9529 万円
介護保険⑤	△ 774 万円	5356 万円
下水道事業②	△ 968 万円	1 億 5208 万円

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てています
※表中の○数字は補正措置の回数を表しています

第7回定例会 8人が登壇
一般質問

一般質問とは
 ・定例会に限り、町政全般に関して質問できます
 ・質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です
 ・質問者の順番は通告した順番で行われます
 ・同一項目についての再質問は2回までできます
 ・時間の制限はありません

中村 正志 (15ページ)

- 会計年度任用職員の運用
- ごみ処理事業
- 新型コロナウイルス感染症対策の小中学校臨時休校

- 北岩手循環共生圏結成
- 公共施設の建設

茶屋 隆 (14ページ)

上山 誠 (17ページ)

- 町道下晴山貝喰線の管理

- 認定こども園への移行

田村 せつ (16ページ)

大村 税 (19ページ)

- 地方創生推進施策
その内容は

- 葉たばこ生産支援の構築

西舘 徳松 (18ページ)

江刺家 静子 (21ページ)

- 再エネ促進計画の面積縮小を
- 町立幼稚園・保育園の今後
- 会計年度任用職員の雇用
- 公衆トイレの改修
- 町長施政方針演述

- 縁結びサポート百人委員会の設置
- 軽米病院への支援

山本 幸男 (20ページ)

※掲載されている質問要旨や回答内容は要約していますのでご了承ください。
 ※質問・回答の全文は会議録形式で、町議会ホームページにてご覧いただけます。
 (ホームページに掲載されるまで、議会の閉会からおおよそ1~2ヵ月かかる場合があります)



町議会HP QRコード

反対	江刺家 静子	対象議案	中村 正志	賛成
重症化につながるのでは	町国民健康保険被保険者証交付事務取扱要領には、短期被保険者証は町長が必要と認める者に交付するとある。その保険証は、「私は滞納者です」と表明しているようなもの。受診に自然と足が遠のき、それが重症化につながるものがあってはならないと心配する。	【議案第9号】 令和2年度国民健康保険特別会計予算	子ども均等割免除を要望	軽米町は岩手県の指導の下に国保会計が進められており、山本町長は今後も子ども均等割の免除については県知事等に要望していくとのこと。厳しい財政状況の中、町民への負担が大きくなることへのきめ細かい職員対応の姿勢を高く評価する。
反対	山本 幸男		上山 誠	賛成
町民が苦しむだけ	「税」を滞納している町民に保険証の有効期限を3ヵ月として、3ヵ月毎に役場に出向いて更新しないと診療が受けられない世帯が約65世帯あり、保険証をちらつかせて納税を迫っているようにしか見えない。「短期保険証」は町民を苦しめるだけ。やめるべき。		短期被保険者証の必要性	短期被保険者証を発行することで滞納者との対話の機会を確保するなど、保険税の滞納の回収に努めている。保険者としてできる最大限の努力を行い、安易に滞納整理による滞納解消に走ることなく、滞納者との会話の中で歳入の確保に努めている。

反対	江刺家 静子	対象議案	中村 正志	賛成
介護事業廃止想定に疑問	健康ふれあいセンターの介護事業は昨年、廃止することとして説明があり、令和2年度の予算は、その廃止を想定した予算になっている。事業所の決算、予算の経過を見ると、閉鎖に向けて進んで来たというのがわかる。高齢者や障がい者が安心できる施設として、介護事業所をもう一度立て直すことはできないか。	【議案第11号】 令和2年度介護保険特別会計予算	丁寧な説明で町民納得へ	町長の施政方針演述の中では、デイサービスについては廃止。ほかの民間施設への移行については同意してもらっている。訪問介護、居宅介護支援事業は利用者の意向を酌み取り、引き続き実施とのこと。丁寧な説明で町民が納得し、賛成される新たな健康ふれあいセンターが運営されることを期待する。

賛否が分かれた議案等の

表決一覧 (賛成：○、反対：×、欠席：欠)



議案名	議員名											賛成	反対	結果	
	上山 誠	西舘 徳松	江刺家 静子	中村 正志	田村 せつ	館坂 久人	大村 税	本田 秀一	細谷地多門	山本 幸男	茶屋 隆				(※)松浦 満雄
議案⑧ 2年度一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
議案⑨ 2年度国民健康保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	9	2	可決
議案⑩ 2年度介護保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決

(※) 議長は通常、採決には加わらない。



たがし ちや
隆 茶屋

北岩手循環共生圏

問 具体的な取り組みは

町長 エネルギー供給で地域と経済の活性化に

【問】エネルギー供給だけでなく、人や物、経済分野の交流も活性化させたいということだが、具体的な内容は。

【町長】横浜市で北岩手フェアを開催し、消費者と触れ合いながら農林畜産物を販売。12月2日には、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言を共同発表しました。

【問】どのようなことを重点事業として取り組むのか。

【町長】当町の再生可能エネルギーを横浜市に供給することにより、地域活性化・経済活性化への取り組みを推進。ゼロカーボンも含めた脱炭素社会構築へ向けた、環境政策の取り組みを進める。



2年度から3か年計画で建設予定の交流駅
昨年度は工事用道路を整備しました

公共施設

問

交流駅建設工事の今後の計画は

町長 令和2年度から本体工事に着手

【問】火葬場は3月に完成し、4月から供用開始の計画だが進捗状況は。

【町長】本年2月末現在で80%の進捗率。本年度内には本体建築工事は完成となる見込みであり、4月からの供用開始に向け、3月中に確認検査を行う。

【問】特別養護老人ホームいちい荘の完成が遅れると聞いたが、進捗状況は。

【町長】2月末現在で60%の進捗率と報告を受けた。東京オリピック関連施設の建設ラッシュ等により負材が不足し、完成は6月末になる見込み。

【問】(仮称)かるま交流駅建設工事の今後の計画は。

【町長】令和2年度から本体工事に着手。順調に進むと、令和4年10月頃にはすべての工事が完了する予定。その後必要備品の整備を行い、令和5年4月の開館に向け取り組む。

【問】町営住宅建替団地工事の今後の計画と、移転者を決める方法や家賃は。

【町長】解体工事を含めて令和4年度に完了する予定としている。建築から経過年数の古い団地から順次移転予定であり、家賃については5年間の特例措置を実施し、6年目から正規家賃を徴収する。



なかむら まさし
中村 正志

生ごみ処理事業

問 消滅型ごみ処理に疑問

町長 事業廃止を含めて検討したい

【問】消滅型生ごみ処理事業の今後の方向性は。

【町長】平成29年度から町独自の取り組みとして消滅型の生ごみ処理事業を実施してきたが、費用対効果の面で可燃処理よりも割高であり、事業の廃止を含めて検討したい。

【問】布団類はこれまで粗大ごみとして収集していたが、広報からまい2月号に、4月からは収集中止と掲載されていた。議会への説明もなく決定事項を広報でお知らせするのは、あまりに議会軽視ではないのか。

【町長】管内他市町村では布団類は直接または許可業者へ委託し、いわて第2クリーンセンターへ搬入し、有料で処分しているが、料



軽米町民一丸となつてごみの減量化を目指しましょう(写真はイメージ)

金は個人負担。広域行政事務組合の構成市町村で統一することが望ましいことから、布団類の収集中止についてはご理解とご協力をいただきたい。

【問】軽米町としてのごみ処理全体の方向性を示し、町民と協働作業でごみ減量化を目指すべきでは。

【町長】これまでと同様に町民の協力を得ながら、生ごみの減量化や資源化、マイバッグ運動等に継続して取り組みたい。

会計年度任用職員

問

不安ない雇用となるか

町長 公平性を考えると制度上困難

【問】現在の臨時職員が不安を持つことなく優遇される雇用となるのか。雇用主として町長の見解は。

【町長】地方公務員法上、雇用は競争試験

たは選考であり、新規の任用を希望されている方との公平性を踏まえ、制度導入時において現在の臨時職員を優遇するという考え方は制度上難しい。

新型コロナウイルス感染対策

問

学校等への指導内容は

教育長 感染予防と安全確保を

【問】臨時休校において児童・生徒、学校に対してどのような指導がなされたか。

【教育長】この臨時休校は感染拡大防止のため休校であると理解してもらい、不要不急の外出を避けるなど、

安全確保に努めることを基本とした。学習はドリル等の課題学習や読書の取り組み、早起きなど生活リズムを大切にすること。メディアについての約束等、指導や声掛けをしてもらっている。



たむらむら せつ 田村 せつ

認定こども園

問 丁寧な説明はされたのか

町長 各施設の保護者等に2回の説明会実施



今年度は幼稚園の閉園と認定こども園の開園に向けた準備に取り組みます(写真は軽米保育園入園式)

問 認定こども園への移行は不安もあると思うが、保護者が理解し納得する丁寧な説明はなされたか。

町長 参考にしなから令和2年度を幼稚園閉園と認定こども園開園準備期間として進めてきた。準備期間中にも移行過程等の報告など兼ねた説明が必要では。



職員や保護者の方からの納得を得ながら慎重に進めることが求められます

問 所管課は健康福祉課と聞く。教育・保育を一体的に行う施設だが、教育委員会は管轄外なのか。

町長 所管課は県との協議を踏まえて決定することとなる。

問 全職員に対しての説明や勉強会など、理解を深める機会が必要では。

町長 職員への説明を軽米保育園、小軽米保育園、晴山保育園で行った。これまでも加盟する各協議会・部会の研修のほか、園内研修を実施してきたが、より良い施設運営のために保育機関との兼ね

問 現在の軽米保育園の施設で設置基準は満たされていると把握している。保護者や職員への説明会において、施設改修や増築等のご要望があったことなどもあり、設置条件を満たしたうえでさらに充実した施設になるように努めたい。



かみやま まこと 上山 誠

町道の管理

問 通行止めの今後の方向性は

町長 専門家へ調査を依頼し対策を検討



農家の方の通り道にもなっていることから、早めの修繕が望まれます

問 町道下晴山貝喰線は、竹谷袋集落から山内地区に通じる路線。10月の落石以来、通行止めになっている状況だが、町の今後の方向性は。

町長 最近では、町道向川原駒木線と町道駒木長倉線で落石が発生している箇所があり、落石注意の看板を設置して注意喚起をしている。また、重点区間として日常のパトロールを行っている。

問 対策を検討したい。落石があった箇所について、どのような調査と対策をしているか。

町長 瀨月内川沿いの町道の、台風や豪雨時に冠水する箇所への対策は。

町長 河川改修工事を実施することが望ましく、岩手県管理の河川であることから、昨年度に強く要望し今年度も要望する。

問 落石による通行止めと冠水による通行不能になった場合、孤立集落になる恐れがあり、緊急車両等の通行や物資等の運搬ができなくなると思うがどのように考えているか。

町長 そのような状況になった場合は、町道みどころばし竹谷袋線の工事を一時中断し、通行できるように対応したい。

問 町が管理する道路や橋の舗装の



想定外の豪雨にも耐えられる防災対策が必要ではないでしょうか

町長 毎年舗装修繕工事を実施しており、道路パトロール及び通行人等から寄せられた情報のうち、緊急性の高い箇所はその都度舗装修繕を実施している。橋梁については、5年周期で125橋の橋梁点検を平成27年度から実施しており、点検結果に基づいて橋梁補修工事を実施している。

問 町が管理する道路や橋の舗装の



にしだて たくみつ 西館 徳松

葉たばこ生産支援

問 葉たばこ生産の状況は

町長 人数と生産面積は減少傾向に



後継者不足の問題は農業における大きな課題です



岩手県 HP
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業の概要をご覧ください。

助、地力増進対策として堆肥散布10アル当たりに20000円の購入補助を行っている。

【町長】平成元年度は334名だった生産者数は、現在114名と約3分の1程度に減少。生産面積は、平成9年度の約222ヘクタールをピークに減少を続け、現在は半分以下の約100ヘクタールという状況。

問 当町における葉たばこ生産の推移と生産状況は。

問 葉たばこ生産に対する現在の支援内容は。

【町長】県単独事業のいわて地域農業マスタープラン実践支援事業の導入により、農業機械導入に関わる支援を行っている。町単独としては、立ち枯れ病予防対策として土壌消毒剤一袋当たり25000円の購入補助、地力増進対策として堆肥散布10アル当たり20000円の購入補助を行っている。

問 今後の町の支援体制は

町長 生産者の高齢化に対応するた

問 生産者の高齢化に今後どのような町独自の生産支援体制を構築しようとしているのか伺う。

町長 地域農業マスタープラン実質化に向けた取り組みの中で、新規就農者や地域の中

心的担い手、高齢の生産者を含めた幅広い皆様方のご意見を伺う機会を設け、問題解決に向けた対応策の掘り起

問 作付面積に応じた生産振興支援が必要と考えるがいかがか。

町長 葉たばこの耕作面積は100ヘクタールを占めており、生産者の数も多く参入しているので検討していきたい。



おおむら みつぎ 大村 税

地方創生推進施策

問 共同発表の経緯は

町長 横浜市の目標に共鳴し連携協定を



町の再生可能エネルギーを活かし、地域活性の創出に取り組みます

問 2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言を共同発表したと報告があったが、その経緯は。

町長 北岩手でも昨年の台風19号など、日本全国で様々な異常気象による災害が頻発している。気象変動対策

の一つとして、北岩手の9市町村を含む東北12市町村は、横浜市の掲げる2050年温室効果ガス排出量実質ゼロという目標に共鳴し、本年2月に横浜市と再生可能エネルギーに関する連携協定を締結した。

【町長】エネルギーの供給を通じた地域活性の創出に向けた取り組みを進めている。また、大都市に再生可能エネルギーを供給し、

問 取り組みの内容は

町長 エネルギー供給で地域活性に

問 2050年温室効果ガス排出量実質ゼロの内容は。

町長 エネルギーの供給を通じた地域活性の創出に向けた取り組みを進めている。また、大都市に再生可能エネルギーを供給し、内容的になっている。

問 地方創生の現状と構想は

町長 各市町村で家庭ごみ削減等を

問 日本及び世界の脱炭素化に寄与するとともに、都市との連携強化など地方創生に向けた取り組みを推進すると話したが、

町長 家庭ごみの削減や化石燃料の使用量削減目標など各市町村でまとめ、推進していく。本年2月18日には、県北9市町村で北岩手循環共生圏が結成され、横浜市との様々な交流を進める新たな取り組みが始動した。



やまもと ゆきお
山本 幸男

百人委員会の設置

問 百人委員会を設置しては

町長 過度な干渉は人権侵害につながる

【問】縁結びサポート百人委員会を設置して婚活の取り組みを進めてはどうか。
【町長】個人の権利が尊重される中、過度な干渉は人権侵害につながる恐れがあり、限られた地域内のみでの対策は難しい。
【問】公募に加え町議会や社会福祉協議会等、幅広く力強い構成にして取り組んでどうか。
【町長】二戸管内結婚支援関係団体担当者との連絡会議が開催され、今後は関係団体等の参加を増やし、課題を共有して広域的に取り組むとのことであり、軽米町としても連携して取り組みたい。

【問】さわやかカップル祝い金やすこ
【町長】認定こども園をスタートするにあたり、保護者や保育士等の関係者など懇話会を持って今後の保育園・幼稚園について話し合いが必要と考えるがいかがか。
【町長】これまで、保護者等への説明会を実施



1人でも多くカップルを増やすために新たな取り組みが望まれます

県立軽米病院

問 公表後の動きや対応は

町長 急性期病床から慢性期病床へ

【問】再編・統合について、公表後の動きや情報・対応は。
【町長】県立軽米病院は、地域包括ケアシステムを導入するなど、急性期病床を減らし慢性期病床への転換を進めており、現時点では大幅な再編は必要ないとのこと。
【問】前回の答弁では、町立ではないから対応が難しいという印象を受けたが、町立、県立問わず町民を根っこにした病院で、宝の病
【町長】ご提言いただいたことを参考に、また、病院との連携や考えを聞くなど情報収集に努め、できることは手いっぱいやっていきたいと考えている。



今後も軽米病院への支援が必要となります



えしかししずこ
江刺家 静子

メガソーラーと風力発電の環境保全

問 再エネ促進計画面積縮小を

町長 計画の見直しは考えていない

【問】農山村活性化計画の、森林伐採によるメガソーラーなどの計画面積縮小を提案する。
【町長】計画の中に森林開発の上限面積は、全体の10%以下と定められており、当該計画の見直しは考えていない。

【問】国の事業計画策定ガイドラインを参考に、条例を制定すべきでは。
【町長】農山村活性化計画の中で、環境保全や災害防止、景観保全等、町独自で開発面積10ヘクタール以上の環境現況把握調査の実施を定めているため、新たな条例の制定は必要ないと考えている。

【問】農山村活性化計画の中で、環境保全や災害防止、景観保全等、町独自で開発面積10ヘクタール以上の環境現況把握調査の実施を定めているため、新たな条例の制定は必要ないと考えている。



ミレットパークに、ソーラーパネルを一望できるミレットパーク・ソーラー館が建設されました（写真は、ミレットパーク・ソーラー館現地視察）

町立幼稚園・保育園の今後

問 今後の話し合いが必要

町長 保護者等への説明会を実施

【問】認定こども園をスタートするにあたり、保護者や保育士等の関係者など懇話会を持って今後の保育園・幼稚園について話し合いが必要と考えるがいかがか。
【町長】これまで、保護者等への説明会を実施

会計年度任用職員

問 臨時職員等へも説明を

町長 公平性確保のため予定はない

【問】正職員への説明会と同時に臨時職員や非常勤職員にも説明をすべきでは。
【町長】任用中の臨時任用職員や非常勤職員は、無条件で会計年度任用職員として任用されるといった既得権は有していない。採用は競争試験または選考によるとする地方公務員法の趣旨に則り、一般の応募者と同等の取扱いにして公平性を確保すべきとの考えから、現在任用中の臨時任用職員や非常勤職員に限定した説明会の予定はない。

その他の質問・回答

【問】図書館前の公衆トイレは老朽化が進んでいる。改修しなければならぬ時期にきているのでは。
【町長】令和5年開館予定のかるまい交流駅に関わってくるものと考えている。

【問】メガソーラー発電事業の稼働による固定資産税の増収分はいくらか。
【町長】固定資産税全体の状況として、固定資産税は4億3857万円の増、町税は4億2934万円の増を見込んでいる。

検証 追跡

あの「検討します」は…
どうなった？ ⑭

議員の質問に対して「検討する」などと回答したものが、その後どのように対応し、どうなっているのかを追跡し、検証するコーナーです。

【子育て支援】

令和元年12月定例会
一般質問 から
Pick up!

- 問**
1. インフルエンザ予防接種2回目の助成を
 2. 妊産婦へ出産までの交通費の助成を
- 答**
1. 流行拡大を防ぐ観点から、前向きに検討したい
 2. 負担感軽減のために、前向きに検討したい

その後は…

「2回目の予防接種」と「妊産婦へ交通費助成」どちらも令和2年度一般会計に予算計上され、子育て支援日本一の町に一步前進

〔解説〕 インフルエンザ予防接種
13歳未満の子どもがインフルエンザにかかると、免疫力が低く、重症化してしまうこともあります。予防接種は2回目を接種することでさらに効果が高まると言われています。

〔解説〕 妊産婦への交通費助成
軽米町には、産婦人科を持つ医療機関がないため、妊産婦健診を受ける際は町外へ行かなければなりません。通院費に対する負担の軽減、安心して出産するための重要な予算措置です。

議会のはてな？ しくみを教えて！ ⑮

最高意思決定機関
本会議

議決は住民の意思

本会議は、議会における最高意思決定機関です。議長以下、議員全員が集まって開かれる会議です。本会議での議決は、イコール住民の意思ということになります。

意思決定は多数決

議会の意思決定の方法は、出席議員の過半数です。通常は多数決です。議長は行司役ですから採決には加わりませんが、可否同数の場合に議長が可否を決定します。

会議公開の3原則

議会は住民の代表である議員同士の話し合いの場です。議員の議論の場を広く公開するために、会議公開の3原則として、傍聴・報道の自由、会議録の公表があります。

町では、かるまいテレビや議会だよりなどで町民に公開しています。

町政調査会の活動報告

1/31 認定農業者振興会と議会との意見交換会

町政調査会（山本幸男会長）は1月31日、認定農業者振興会（寺澤正幸会長）との意見交換会を開催しました。町に対する意見・要望や、農業の現状についてなどを熱く議論。今後、さらなる農業支援の拡充に努めていきます。



認定農業者8名が参加し、農業者の苦勞や町からの支援などを意見交換しました



軽米出身の八戸在住者の会も65年の歴史に幕を閉じました

2/8 在八軽米郷和会最後の新年祝賀会

毎年恒例の在八軽米郷和会（日向俊男会長）の新年祝賀会が2月8日、八戸市で開催され、八戸市在住の軽米出身者と交流を深めました。会員の高齢化などにより、同会は、65年の歴史に幕を閉じ、今回が最後となりました。思い出など、終始盛り上がりました。

2/26 民生委員児童委員協議会と議会との意見交換会

町政調査会（山本幸男会長）は2月26日、民生委員児童委員協議会（中里多喜男会長）との意見交換会を開催。民生委員の活動の厳しい状況を理解するとともに、今後も情報を共有しながら、課題解決に努めることとしました。



民生委員児童委員協議会との意見交換会は初の試み、今後もさらに連携して町政の発展につなげたいものです

かるまい町に住んでみて

町民インタビュー Vol. 19



やすゆき
夫・康有 さん

たいすけ
長男・大祐 さん

かとう
ナリヴァイコ・ライサ加藤 さん

ウクライナ、ヤルタシティ出身 39歳（向川原）
夫・長男の3人家族

軽米に来て16年

☞ 軽米町で暮らすきっかけは？
結婚がきっかけで軽米町に来ることになりました。ウクライナから軽米町に移り住んで16年になります。今は夫と長男の3人で暮らしています。

雪かきは大変

☞ 町に住む前と後の印象はどう変わりましたか？
私が生まれたウクライナのヤルタシティは、ほぼ雪が降らないので、雪を見た時は綺麗だなあと思いましたが、大雪の時の雪かきが大変で、二度としたくないと思いました。

仕事にワクワク

☞ 今、身の回りで関心があることは何ですか？
今は軽米保育園で補助員

の仕事をしています。始めたばかりなので、毎日ワクワクして頑張っています。移り住んで来ても仕事ができすぎて嬉しかったです。

自然を活かした遊び場

☞ 町づくりへの思いを一言？
軽米町は自然が豊かですし、町の人は親切で優しいなど感じています。しかし、子ども遊び場が少ないなと思います。自然が豊かなので、どこかに遊べる場所を作ってほしいと思います。また、若い人が働ける場所や、コミュニケーションを多くとることができ施設があれば良いと思います。

募集しています

このコーナーの出演者を募集しています。主に町外から軽米町に来られた方で、町への提言、思いなどをお寄せください。自薦・他薦は問いません。議会事務局又はお近くの町議会議員までお問い合わせください。

